

正味財産増減計算書

令和3年7月1日から令和4年6月30日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	198	192	6
特定資産受取利息	198	192	6
受取入金	100,000	120,000	△ 20,000
受取入金	100,000	120,000	△ 20,000
受取会費	4,784,000	4,900,000	△ 116,000
受取会費	4,784,000	4,900,000	△ 116,000
事業収益	143,693,258	176,453,406	△ 32,760,148
嘱託登記事業収益	143,693,258	176,453,406	△ 32,760,148
雑収益	81,461	123,073	△ 41,612
受取利息	264	438	△ 174
雑収益	81,197	122,635	△ 41,438
経常収益計	148,658,917	181,596,671	△ 32,937,754
(2) 経常費用			
事業費	143,467,181	173,029,243	△ 29,562,062
役員報酬	423,270	403,860	19,410
退職給付費用	6,143,558	6,025,917	117,641
福利厚生費	179,460	263,606	△ 84,146
旅交通費	546,308	601,071	△ 54,763
通信費	365,324	407,662	△ 42,338
消耗品費	245,644	197,169	48,475
印刷製本費	1,417,055	3,102,677	△ 1,685,622
賃借料	218,400	103,400	115,000
支払リース料	732,000	660,000	72,000
支払保険料	62,232	99,384	△ 37,152
業務処理費	338,580	244,440	94,140
租税公課	126,450,153	156,779,495	△ 30,329,342
雑減価償却費	696,054	147,900	548,154
管理費	117,181	42,262	74,919
役員報酬	5,531,962	3,950,400	1,581,562
退職給付費用	10,449,272	10,796,602	△ 347,330
福利厚生費	954,630	701,040	253,590
旅交通費	1,662,742	1,630,905	31,837
通信費	48,570	71,344	△ 22,774
消耗品費	328,157	231,180	96,977
印刷製本費	113,828	161,569	△ 47,741
賃借料	330,467	223,550	106,917
支払リース料	1,314,048	1,367,889	△ 53,841
支払保険料	600,180	269,622	330,558
業務処理費	106,620	136,100	△ 29,480
租税公課	660,000	660,000	0
雑減価償却費	62,232	99,384	△ 37,152
管理費	38,370	41,700	△ 3,330
役員報酬	2,179,071	2,699,716	△ 520,645
退職給付費用	924,000	1,292,500	△ 368,500
福利厚生費	35,146	0	35,146
旅交通費	766,750	838,750	△ 72,000
通信費	51,246	0	51,246
消耗品費	155,165	196,398	△ 41,233
印刷製本費	118,050	174,955	△ 56,905
経常費用計	153,916,453	183,825,845	△ 29,909,392
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,257,536	△ 2,229,174	△ 3,028,362
評価損益等調整額	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,257,536	△ 2,229,174	△ 3,028,362
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,257,536	△ 2,229,174	△ 3,028,362
一般正味財産期首残高	52,035,815	54,264,989	△ 2,229,174
一般正味財産期末残高	46,778,279	52,035,815	△ 5,257,536
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	46,778,279	52,035,815	△ 5,257,536

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物	定額法による償却によっている
什器備品	定率法による償却によっている
ソフトウェア	定額法による償却によっている

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 給与規定に基づき定めた支給基準により、設定している

(3) 消費税等の会計処理

税込処理によっている

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	2,964,390	228,030	0	3,192,420
事故対策引当資産	3,700,000	0	0	3,700,000
財務調整積立資産	1,500,000	0	0	1,500,000
減価償却引当資産	1,010,000	0	0	1,010,000
関プロ総会準備引当資産	800,000	0	0	800,000
合計	9,974,390	228,030	0	10,202,420

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
退職給付引当資産	3,192,420	—	—	(3,192,420)
事故対策引当資産	3,700,000	—	(3,700,000)	—
財務調整積立資産	1,500,000	—	(1,500,000)	—
減価償却引当資産	1,010,000	—	(1,010,000)	—
関プロ総会準備引当資産	800,000	—	(800,000)	—
合計	10,202,420	(0)	(7,010,000)	(3,192,420)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	451,500	436,450	15,050
車輛運搬具	1,579,760	915,947	663,813
什器備品	16,395,782	10,128,497	6,267,285
合計	18,427,042	11,480,894	6,946,148